

\*入選者情報は2021年5月25日現在のものです。

#### 14歳の決心

作詩：中井美佑（大阪市・14歳）

作曲：笠木敦志（千葉県柏市・52歳）

中学二年生 最初の面談

「高校はどこに行くつもり？」

初めて聞かれたこの言葉

そうか わたし ついに

高校のこと 考える年になったんだ

聴こえる学校って どんなところかな

どこが同じなのかな どこがちがうのかな

友だちたくさん作りたいな

毎日 笑っていたいな

心の中で わくわくしてた

でも やっぱり不安もあるよね

手話のない 音だけの世界に

わたしひとりですべて入っていけるかな

友だちたくさん作れるかな

勉強 追いついていけるかな

不安なこと たくさんあるけれど

一回挑戦したいな

知らない世界 新しい世界に

思いきって踏み込んでみたくて

自分の進む道 見つけたくて

少しでも 今の自分を

変えることができるのなら

いろいろなこと 挑戦してみようって

思い始めた

聴こえる世界に入っていくなら

覚悟しないとイケないよね

だから自分の「耳」に 向き合って

「できないこと」を探すんじゃなくて

「できること」を探していってみようって

決めた

#### 第46回わたぼうし音楽祭 作詩・作曲の部入選作品

変わったもの 変えていくもの

作詩：斎藤絆広（福井市・13歳）

作曲：竹嶋 聡（神奈川県川崎市・51歳）

コロナで日本が変化した

休校 行事中止などあったけど

でも自分は嬉しいんだ

中一になって未来の一步を踏み出したから

嬉しいをいっぱいにして

日本を元気にしよう

ワクワクドキドキいっぱいにして

自分もあなたも元気になろう

コロナで暗くなってしまった

検温 外出自粛などあったけど

でも自分は楽しいんだ

中一になってワクワクが止まらないから

嬉しい 楽しいをいっぱいにして

日本を元気にしよう

ワクワクドキドキいっぱいにして

自分もあなたも元気になろう

コロナで家族と話すようになった

未来の予定をいっぱい立てたから

だから自分は明るいんだ

中二に向かって

未来の希望でいっぱいだから

嬉しい 楽しい 明るいをいっぱいにして

自分もあなたも元気になろう

世の中暗くしないようにしよう

明るい未来に進んで行こう

明日（あした）来るさ

作詩：坂下芽依（北海道札幌市・17歳）

作曲：町澤 恵（神奈川県横浜市・54歳）

不安あっても 明日来るさ

世界変わっても 未来来るさ

失敗しても 一生懸命やる

ゆっくり一歩ずつ歩こう

今日はいっぱい考えても わからない

明日は考えてわかる

今日は悔しくても 明日は負けないって

転んでも進む 明日活かす

一人じゃない 二人で乗り切ろう

キミできるさ

不安あっても 明日来るさ

世界変わっても 未来来るさ

失敗しても 一生懸命やる

ゆっくり一歩ずつ歩こう

何を頑張れば良いか わからない

不安あったら話してみよう

苦しいときあっても 乗り切ろう

今日は泣いていいよ

でも 明日は笑えばいいよ

キミできるさ

不安あっても 明日来るさ

世界変わっても 未来来るさ

日々前（まえ）向く 一生懸命やる

ゆっくり一歩ずつ歩こう

キミは無理に決めないでできるから

ゆっくり考えよう わかるまで

昨日はケンカしたけど 明日は謝れば良い

落ち込まないで 昨日あったことを蹴って

明日へ向かおう

日々前（まえ）進もう

不安あっても 明日来るさ

世界変わっても 未来来るさ

失敗しても 一生懸命やる

ゆっくり一歩ずつ歩こう

夢を一歩ずつ 明日へ

\* 入選者情報は 2021 年 5 月 25 日現在のものです。

	第 46 回わたぼうし音楽祭 作詩・作曲の部入選作品			
僕の一日 作詩・作曲：野澤大輔（和歌山県東牟婁郡・36 歳）		目にうつるものだけがほんとではないよ 作詩：小林浩太郎（山梨県都留市・23 歳） 作曲：本多裕子（東京都世田谷区・61 歳）	やわらかな心 作詩・作曲：冬野星乱（埼玉県入間市・29 歳）	轍と足跡 作詩：太田純平（東京都町田市・30 歳） 作曲：杉田篤史（神奈川県逗子市・42 歳）
朝起きて ぼーっとして 食堂に行く パンを焼く やっぱりごはんのみそ汁がいいな	佐野駅から電車に乗って太地で降りる 雨の日はバス 晴れの日は歩いてハイツに帰る	ぼくはこんなふうだけど いっぱいところがあるのをしてほしいから 山のすがたではなくて みずにうつる山をかきたいの	小さい頃の私は 見えない場所に希望を探し あそこの家の裏はきっと どこか素敵な世界繋がっていると信じていた 大きくなった私は 見えない場所を不安に思い ありもしないのに悪い方に 悪い方に 考えてしまう自分がいた	自分の足跡を君は振り返り見たことがあるか？ 僕の足跡は何て臍（おぼろ）げで弱々しいのかと 自分で見つめた 青空の下 生きてきた自分の足跡をなぞる 僕の足跡は涙でぬかるみ その下からは踏みつけられた花が倒れていた もう後ろを見まいと心に誓う
時間がない 大急ぎでバス停に行く 靴はいて 鍵かけて 世話人さんに「行ってきます」	道の駅を通る トンネルをくぐる ガソリンスタンドを曲がる ガソリンスタンドのおっちゃん いつも手をあげてくれる	かおりはことば だってぼくは自分でうごけないのに かおりはぼくのところまで来てくれて 色んなことをおしえてくれる 季節のこととか あと お母さんの気もちもおしえるよ かなしんでいる時はあんましないけど すっぱいかおり それから なんかすっとするかおりの時は うれしいとき	心も体もがんじがらめ	静かな満月の日は公園のブランコに乗り 思いっきり高く漕いでみた そして幼い時にブランコが大好きだったと ふと思い出した 高く上がると自分が夜空の一部になり 当たり前のように月に手が届くと思った 何回漕いでも僕の手は月を触ることがなかった
毎日僕はこんなにしています 仕事に行っています	毎日僕はこんなにしています 仕事に行っています	ねむったようないのちでも こころのうみは うたをうたい みんなのえがおで ひかりかがやく ぼくはねむったくにおうさまだ	そういつかいつかの夢は 今も心の中にある 笑われることが何だよ 心に従い生きてみたい 今はどんなに苦しくても 可能性を探しに行くのさ	落ち葉をわざと踏みしめて ガサガサという音が楽しくて 飛び跳ねながら通ったイチョウ並木 そんな思い出の足跡を振り返る 何て自由に動けるということは楽しいのだろう
いつものおばちゃん乗ってないな どうしたのかな？病気かな？さびしくなった	ハイツに着いた タごはんまでゆっくりする 今日のタごはん サバのみそ煮と豆腐のあんかけ	人生には地獄などない 未来に向ってあゆむのみ まっかにそまる空 光かがやく ぼくのたましい	小さい頃の私は 最低な出来事を最高で倒し 私はこんなものじゃないわ まだまだ楽しい世界待っていると信じていた 大きくなった私は 最低な出来事に簡単に倒される 誰かの言葉が怖すぎて 怖すぎて 小さくなってしまふ自分がいた	僕自身の足跡は 2 本の車輪と共に今がある しっかりとした轍を作り今がある 作られてきた轍には 涙と悔しさと羨望ばかりが色濃く残る でも君も思うだろう そんな弱さは人に見せずに生きてきたよな そんな足跡は淡くなってしまえ
佐野で降りる 「おはよう」って声掛けてくれる うれしいな 今日も一日頑張ろう	カレーが好きだ 豚肉のカレーが一番好きだ おいしいな おかわりしようかな？ お皿は自分で洗う			
毎日僕はこんなにしています 仕事に行っています	毎日僕はこんなにしています 仕事に行っています			
ゆうに着く 今日はパンどんなけ焼くんかな？ 白衣着てコロコロする 後ろはしてもらう	ゆっくりゆっくりお風呂に入る テレビを見ます ギターを弾きます 歯を磨きます			
毎日僕はこんなにしています 仕事に行っています	毎日僕はこんなにしています 仕事に行っています			
パン焼き終わった さぁ後片付けだ 掃除機かけて 床をそうきんでふきます	毎日僕はこんなにしています 仕事に行っています			
終礼して パンの売上げ発表をして 完売なら拍手 タイムカードを押して駅に行く				
毎日僕はこんなにしています 仕事に行っています	毎日僕はこんなにしています 仕事に行っています			
			そういつかいつかの私は 今の自分応援してる みんなと違っていいんだよ 自分らしく生き抜いて欲しい 今はどんなに闇が深く もがいていても光はある 胸の鼓動が響く限り 私たちに希望は消えない	僕の今は沢山の足跡と轍が交差して賑やかで 必ず轍の後から様々な足跡がついて来る 僕は今 沢山の仲間たちと夢を語らい 空を押し上げて月をも手に取ろうと頑張っている 交差する足跡 そして轍 それは思いやりと共感と友情の足跡 僕はこれからも空を押し上げるほど飛び跳ねて 仲間達と轍を作り続ける きっと後からも沢山の仲間がそうやって生きていくと思う